

発表会： 7月18日 13時～16時

参加者： 3名

1、「携帯自転車」岩崎氏

現在、操作性及び効率化の向上変更を終えて、これから目標の7kgへの軽量化に移る予定。ただ、軽量化には各部品を専用に新設（加工には専用の機械が必要で難しい）するか、よりコンパクトな部品を探す必要があるのでその方向でこれから動いていく予定。

この軽量化が実現すれば、その後いろいろな場所で展示会を開き、多くの人に見てもらおう予定。

2、「極小セイフティーカッター」光広氏

(1) 特許登録について

5月末に、今回の特許の拒絶通知が来て、発明協会のアドバイザーと相談しながら手続き補正書と意見書を特許庁に6月23日に提出した。ただ今回の特許に関して、今までの出願に比べ、先行した類似案件がありそれを回避しながら今回の特許のポイントを抑えて補正することがかなり難しかった。（現在は特許庁での判断待ち）

(2) 登録後の動きについて

現在はまだ具体的にどう動くか決めていないが、まずはみんなに知ってもらうよう試作品を作り、いろいろなところに配り使ってもらい色々な意見を聞きながら進めていく予定。

(3) 国際出願について

国内の特許で査定になった場合、国際出願の手続きも考えていく予定。（国内出願後、1年以内に手続きが必要で、各減免を適用すると6万円程度になり、300日以内に具体的な対象国を指定して登録手続きをする必要がある。）

(4) 更に安全性を追加しデザインを少し変更したタイプについて

現在のカッターより更に安全性を高めたタイプを試作したので見てもらった。今回は「おきスパ」だけの試作であったが「ちょうスパ」も同様に試作して評価する予定で、評価次第では、現在の「おきスパ」「ちょうスパ」に置き換えていく予定。

3、「NHK逆転人生の放送について」光広氏

小さな会社の社長が暑さを快適にするジャンパーを考えて、当初は冷却装置を入れて試作品を作ったが大きくなり難しかった。そこで送風機2つ付けただけのものを考え、風の通り抜けなどを改良した結果まずまずの物が出来販売することになった。最初は売れ行きが悪かったが、鉄道の補修工事会社の社長の目に留まり部下の作業員に使ってもらった結果、非常に涼しくて効果があって社員の分を買ってもらったうえ、その社長が他の会社にも提案してくれることになった。これで一気に販売が加速され売り上げが伸びていった。

ポイントはその製品を最も喜んで使ってもらうところに最初に知ってもらうことが重要だ。

4、「トイレトペーパーホルダーに取り付ける手が不自由な人用のカッターについて」光広氏

先日中国新聞に掲載していた内容だが、一般的なトイレトペーパーホルダーに後付けできるカッターを手の不自由な人のために開発された。この製品はホルダーの蓋に取り付けて、通常片手で蓋を押さえてもう一方の手で紙を上押し上げて紙を切断するが、このカッターを使えば、片手で紙を持ち下方向に押し下げるだけでカット出来る優れものだ。

5、「コンパスのアイデア」杉村氏

コンパスにカッター等色々なものを取り付けるアイデアだが、現在オルファなどの会社がすでに製品として出している。

食事会： 2名参加「ゆずの小町紙屋町店」

このメニューは少し変わってきたが、相変わらずさっぱりとしておいしい。
会合の話や、発表会、プレゼンテーション、科学の話などいろいろな分野の話がはずんだ。